

令和2年度「第3期鎌倉食育推進計画」推進に係る取組実績

【達成状況の目安】 1. よくできた …(例)当初予定の80%以上できた
2. だいたいできた …(例)当初予定の50～79%できた
3. あまりできなかった …(例)当初予定の30～49%しかできなかった
4. できなかった …(例)当初予定の29%以下しかできなかった

【推進項目】 当てはまるもの全てに○、最も当てはまるもの1つに◎を入れています。

番号	所属・団体	項目	令和2年度実施事業							鎌倉食育推進計画					協力・連携団体
			新規事業	事業名等	事業内容	時期	場所	対象者(参加者数)	実績について 達成状況の評価の根拠を、可能な限り数値で記入してください。 (例：参加者数の前年度に比べての増減数等)	達成状況	食育の推進				
											食をとおした健康づくり	食をとおした人づくり	食でつなぐ地域づくり	食からはじめる環境づくり	
1	市民相談課	イベント		夏休み子ども教室	おやつやジュースに含まれる糖分や着色料について学ぶ。	—	—	—	新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施を見送った。	4. ほとんどできなかった	◎				
2	農水課	イベント		秋の収穫まつりの実施	鎌倉で収穫された農産物・海産物の紹介と販売をとおし、鎌倉の食と一緒に守り育てる心をはぐくむ。また鎌倉の産業の活性化をはかる。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止。	鎌倉市立大船中学校	市民		4. ほとんどできなかった			◎		JAさがみ鎌倉地区運営委員会事務局
3	農水課	イベント		鎌倉の朝市		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止。	鎌倉パークホテル駐車場	市民		4. ほとんどできなかった			◎		鎌倉漁業協同組合
4	農水課	イベント		腰越漁協の朝市		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止。	腰越漁港入口	市民		4. ほとんどできなかった			◎		腰越漁業協同組合
5	農水課	イベント		腰越漁協みなとまつり		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止。	腰越漁港	市民		4. ほとんどできなかった			◎		腰越漁業協同組合
6	高齢者いきいき課	その他		配食サービスの委託		月曜日から土曜日まで（年末年始を除く）のうち希望する曜日の夕食を、ご本人に手渡しで提供 http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/koureisya/haishoku.html	月曜日から土曜日まで（年末年始を除く）	各世帯	次のいずれかに当てはまる方 1.介護保険の要介護4または5の介護認定を受けている65歳以上の方 2.次の2つの条件を両方満たす方 ①世帯の全員が65歳以上で、かつ調理が困難で支援が必要である ②利用対象者が低所得（合計所得金額160万円未満）である。	平成30年度 配食数 25,907食 決算額 5,595,912円 令和元年度 配食数 29,811食 決算額 6,500,912円 令和2年度 配食数 33,233食 決算額 7,311,260円	1. よくできた	◎			
7	市民健康課	情報提供・普及啓発		未病センターかまくら	市民が手軽に健康状態をセルフチェックし、自分の健康状態を「見える化」することで、その結果に基づき「未病改善」に取り組むためのアドバイスや情報提供を行う。	平日10時～15時	鎌倉市福祉センター1階	市民及び県民	未病センター利用者数 延べ149人（R1延べ1806人） 実人数62人（R1実 791人） ＊令和2年4～6月は新型コロナ感染予防のため閉館。	4. ほとんどできなかった	◎				神奈川県
8	市民健康課	その他		乳幼児健康相談（抱っこdeシャベル）	身長・体重の計測、個別相談、育児のワークショップを行う。 保護者との個別相談の時間を設け、育児、口腔ケア・栄養などについての支援を行う。特別な支援の必要な児の口腔ケア相談。 健診・教室の事後フォローの場ともしている。	中止	市内	乳幼児とその保護者	密を避けるため、会場での開催を中止。 保健師、助産師、栄養士、心理士、理学療法士がそれぞれ専門相談として、面接や電話、オンライン、訪問にて個別対応した。 ＜参考＞ 電話・面接・メール相談等 乳児4627件(R1:2975件)、幼児4335件(R1:4120件) 訪問指導 乳児788件(R1:731件)、幼児70件(R1:41件)	3. あまりできなかった	◎				
9	市民健康課	情報提供・普及啓発		地域食育事業	地域の活動グループ（町内会・PTA・子育てサークル等）との連携・協力により、食と健康づくりの関係について講話等とおして伝える。	随時	各グループの活動場所等	依頼のあった活動団体等	新型コロナウイルス感染症防止のため中止	4. ほとんどできなかった	◎				
10	市民健康課	情報提供・普及啓発		地域健康づくり事業	地域の活動グループ（町内会・PTA・子育てサークル等）との連携・協力により、骨密度等の測定や体力測定、健康づくりに関する講話、健康づくり計画の啓発等を行う。	随時	各グループの活動場所等	依頼のあった活動団体等	【成人】依頼があれば、感染症対策をしながら対応予定。中学校祭等は外部の参加は中止となつて、地域からの依頼なし。 【高齢者】集まる際に必要な感染予防対策を伝えながら、実施。延23団体 延279名	3. あまりできなかった	◎				
11	市民健康課	その他		乳児健康診査	【4か月児健康診査】 【お誕生前健康診査】 疾患や発育・発達などの総合的な健康診査。問題等発見時には適切に医療、療育、相談につなげる。	通年	医療機関	乳児	【4か月児健康診査】100.9%（R1は97.1%） 【お誕生前健康診査】99.8%（R1は97.2%）	1. よくできた	◎				市民健康課、乳児健診委託機関（鎌倉市医師会、湘南鎌倉総合病院、湘南かまくらクリニック、西鎌倉こどもクリニック）

令和２年度「第３期鎌倉食育推進計画」推進に係る取組実績

【達成状況の目安】 1. よくできた …(例)当初予定の80%以上できた
2. だいたいできた …(例)当初予定の50～79%できた
3. あまりできなかった …(例)当初予定の30～49%しかできなかった
4. できなかった …(例)当初予定の29%以下しかできなかった

【推進項目】 当てはまるもの全てに○、最も当てはまるもの1つに◎を入れています。

番号	所属・団体	項目	令和２年度実施事業							鎌倉食育推進計画					協力・連携団体
			新規事業	事業名等	事業内容	時期	場所	対象者(参加者数)	実績について 達成状況の評価の根拠を、可能な限り数値で記入してください。 (例：参加者数の前年度に比べての増減数等)	達成状況	食育の推進				
											食をとおした健康づくり	食をとおした人づくり	食をとおした地域づくり	食でつながる環境づくり	
12	市民健康課	その他		幼児健康診査	【1歳6か月児健康診査】 【2歳児歯科健康診査】 【3歳児健康診査】 疾病、発育、発達の総合的な健診。問題等発見時には適切に医療、療育、相談につなげる。 生活習慣の自立、う歯の予防、幼児の栄養、その他育児等に関する指導・相談	通年	鎌倉市福祉センター他	幼児	【1歳6か月児健康診査】94.9% (R1は95.6%) 【2歳児歯科健康診査】30.0% (R1は76.2%) 【3歳児健康診査】86.2% (R1は93.2%) 1.6と3健はR2.4～5月中止。2歯はR2.4～9月中止。	1. よくできた	◎				市民健康課、 鎌倉市医師会、 鎌倉市歯科医師会
13	市民健康課	その他		ママとパパのための健康チェック	乳幼児健康相談を利用の保護者の骨密度測定等の健康チェックを行い、自己管理意識の向上を支援する。各会場、年1回実施。	令和2年5月～9月	市内学習センター等	乳幼児健康相談を利用の保護者	中止。未病センターの利用勧奨などを行った。	4. ほとんどできなかった	◎				
14	市民健康課	情報提供・普及啓発		育児教室	【初期の離乳食教室】 離乳食初期についての知識習得と実習。 育児に限らず、防災対策の一環としてのおんぶの効果・必要性について講義と体験をとおして、理解をすすめる。お子さんや保護者が初めて接する「食」体験の大切さを伝える。	通年(月1回)	深沢行政センター他	5ヵ月の児の保護者	6回、母50名 (R1は母185名、父9名、その他3名) R2.4～9月は中止。	2. だいたいできた	◎				
15	市民健康課	情報提供・普及啓発		育児教室	【6か月児育児教室(まんま♡る～ぶ)】 【1歳児歯科育児教室(いい歯にっこリスクール)】 保護者との個別相談の時間を設け、発育・発達の確認、生活リズムや栄養等の育児相談。	通年	市内支所等	乳児	【6か月児育児教室(まんま♡る～ぶ)】 参加率66.5% (R1 75.4%) R2.4～6月は中止。 【1歳児歯科育児教室(いい歯にっこリスクール)】 中止。	2. だいたいできた	◎				
16	市民健康課	情報提供・普及啓発		かまくらシニア健康大学	介護予防・健康づくりに関する知識の普及啓発をはかることを目的に、介護予防・健康づくりに関する様々なテーマで講座を実施する。	月1回程度	市内	65歳以上の方	8回 236名(定員 計400名) 8月から実施。 (R1は10回 402名〔定員 計600名〕)	2. だいたいできた	◎				市民健康課
17	市民健康課	情報提供・普及啓発		母子食育事業	お子さんや保護者が、はじめて接する「食」体験の大切さ・幼児期に適したおやつを共食する楽しさを伝える	年間	市内各所	乳幼児及び保護者	32回、770人 (R1は68回、1301人)	2. だいたいできた	◎	○			
18	市民健康課	情報提供・普及啓発		幼児食育事業「やってみよう！わくわくクッキング」	「自分でやってみたい」という気持ちが芽生える時期の幼児を対象に調理を行い、一緒に食べることで「共食」の良さを味う。図書館職員及びボランティアスタッフによるおにぎり等の絵本や紙芝居の読み聞かせや手遊びも合わせて実施し、調理への導入を行ったあと、日本の食文化に触れるきっかけになるよう「おにぎり作り」「かつおぶし削り」等の体験を行う。	年3回	たまなわ交流センター	2歳6カ月～3歳11か月までの幼児及び保護者	中止 (R1は3回 30組募集22組の参加、参加率 73.3%)	4. ほとんどできなかった	○	◎	○		
19	市民健康課	情報提供・普及啓発		かまくら食育カレッジ	世代をとおし、全ての人が多面的・総合的な視点から「食」に関心をもち、一人ひとりが、鎌倉食育推進計画の「めざす姿」を実現できるよう、「食」に関するさまざまな講座を実施する	随時	市内各所	市民	6回、44組募集で38組参加、参加率86.4% (R1は5回、117組募集で83組参加、参加率 70.9%)	1. よくできた	◎	○	○	○	

令和２年度「第３期鎌倉食育推進計画」推進に係る取組実績

【達成状況の目安】 1. よくできた …(例)当初予定の80%以上できた
2. だいたいできた …(例)当初予定の50～79%できた
3. あまりできなかった …(例)当初予定の30～49%しかできなかった
4. できなかった …(例)当初予定の29%以下しかできなかった

【推進項目】 当てはまるもの全てに○、最も当てはまるもの1つに◎を入れています。

番号	所属・団体	項目	令和２年度実施事業							鎌倉食育推進計画					協力・連携団体
			新規事業	事業名等	事業内容	時期	場所	対象者(参加者数)	実績について 達成状況の評価の根拠を、可能な限り数値で記入してください。 (例：参加者数の前年度に比べての増減数等)	達成状況	食育の推進				
											食をとおした健康づくり	食をとおした人づくり	食でつなぐ地域づくり	食からはじめる環境づくり	
20	市民健康課	情報提供・普及啓発		健康・食育情報の発信	健康づくり通信やツイッター等を用いて健康・食育に関する正しい情報発信の充実を目指す	随時	市内各所	市民	公共の場を提供する団体の活動内容について、チラシの作成及びホームページ掲載を行った。	1. よくできた	○	○	○	◎	
21	市民健康課	情報提供・普及啓発		地域食育活動団体加入者増加のための協力	食育に関連する団体等への支援や市民への周知を行う。	随時	市内	市民団体	適宜情報共有などを行った。	1. よくできた				◎	
22	こども支援課	イベント		かまくらママ'sカレッジ	6月…ストレッチ、ダンスなど 11月…親子でさといも掘り	6月、11月	6月…鎌倉武道館 11月…鎌倉中央公園	6月…0～3歳児を持つ母親30名 11月…未就園児とその保護者(定員未定)	6月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。 11月は屋外だったため実施したが、参加者数を例年の1/3程度に制限し実施した。	2. だいたいできた		◎			かまくら子育て支援グループ懇談会
23	保育課	情報提供・普及啓発		給食だより・保健だよりの発行	保護者へ、食や健康に関する情報を提供したり、保育園の献立で使用する食材、作り方等を紹介する。	月1回 随時	公立保育園	園児の保護者(約650世帯)	給食だより(年12回/月刊)、保健だより(年4回/季刊)を配布。 通年発行部数⇒給食だより7,570部	1. よくできた	◎			○	
24	保育課	その他		個別面談	公立保育園児への、栄養相談を行う(離乳食、アレルギー、肥満・るい瘦、障がい他)。	随時	公立保育園	園児の保護者(20名程度)	個別面談実施件数(18件)	1. よくできた	◎				
25	保育課	イベント		地域子育て支援事業	・エンジョイ子育て応援講座BP ・保育コンシェルジュ訪問相談 ・目からウロコ講座 ・給食体験 ・離乳食体験	随時	公立保育園	一般市民	・コンシェルジュ訪問相談は多数行った。エンジョイ子育て応援講座BP、目からウロコ講座、給食体験、離乳食体験はコロナウイルス感染防止対策のため実施見合わせ。	3. あまりできなかった	◎				
26	保育課	その他		保健衛生嘱託員巡回訪問	身長体重の計測 健康調査	毎月	各保育園	園児	公立保育園5園 私立保育園16園 毎月巡回訪問を行った。 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、令和2年(2020年)3月の巡回は中止となった。	1. よくできた	◎				
27	保育課	情報提供・普及啓発		日々の生活リズム	園での生活の中で、日々の生活リズム(遊びなどの運動・食事・睡眠)をつくり、朝ごはんの大切さを学ぶ。	毎月	公立保育園	公立保育園園児(約650名)	規則正しい生活リズムを、保育士を中心に園児に指導した。	1. よくできた	◎				
28	保育課	情報提供・普及啓発		「バランスのとれた食事」の啓発と実践	年間調理保育計画年間調理保育計画において「バランスのとれた食事」など、食事の大切さを学ぶ機会をつくり、実践する。	毎月	公立保育園	公立保育園園児(約650名)	日々の給食を1汁2菜(主食・主菜・副菜・汁物)にし、各年齢に応じた食育を行った。5歳児には食べ物の消化吸収の話や1日の献立作成体験を食育として行った。(年間給食日数243日、累計食数95729食)	1. よくできた	◎	○	○		
29	保育課	情報提供・普及啓発		給食をとおし、伝統的な食に親しむ	和食の献立を多く取り入れた給食を実施する。	毎月	公立保育園	公立保育園園児(約650名)	和食の献立を多く取り入れている。特に11月24日は和食の日として、和食メニューを提供し、栄養士が「和食」についての食育をした。	1. よくできた		◎			
30	保育課	情報提供・普及啓発		スプーンや箸などの食具の上手な使いかたを身につける	日々の給食の中で、月齢、年齢に応じた食具の使い方(スプーンの持ち方や箸の使い方)の指導を実施する。	毎月	公立保育園	公立保育園園児(約650名)	食事の際に、各月齢・年齢に応じた食具の使い方を指導した。(年間給食日数243日、年間喫食数95729食)	1. よくできた		◎			
31	保育課	情報提供・普及啓発		食に関するマナーを知る	集団生活の中で、年齢に応じた会食のマナーを身につけることを支援する。	毎月	公立保育園	公立保育園園児(約650名)	縦割り保育や会食、各クラスでの日々の給食でマナーを学習できた。	1. よくできた		◎			
32	保育課	情報提供・普及啓発		「食」に関する感謝の心をはぐくむ	給食、家庭科、技術・家庭科等をとおして、食事を作ってくれた人や食べ物への感謝の心を育てる。食前後の挨拶の意味を伝え、習慣を育てる。	毎月	公立保育園	公立保育園園児(約650名)	調理室を外から見学したり、日々の給食時間に食前後の挨拶の意味を伝えたりした。	1. よくできた		◎			

令和２年度「第３期鎌倉食育推進計画」推進に係る取組実績

【達成状況の目安】 １．よくできた …(例)当初予定の80%以上できた
２．だいたいできた …(例)当初予定の50～79%できた
３．あまりできなかった …(例)当初予定の30～49%しかできなかった
４．できなかった …(例)当初予定の29%以下しかできなかった

【推進項目】 当てはまるもの全てに○、最も当てはまるもの１つに◎を入れています。

番号	所属・団体	項目	令和２年度実施事業							鎌倉食育推進計画					協力・連携団体	
			新規事業	事業名等	事業内容	時期	場所	対象者(参加者数)	実績について 達成状況の評価の根拠を、可能な限り数値で記入してください。 (例：参加者数の前年度に比べての増減数等)	達成状況	食育の推進					
											食をと おした 健康づくり	食をと おした 人づくり	食でつなぐ 地域づくり	食から はじめる 環境づくり		
33	保育課	情報提供・普及啓発		給食等の時間における、楽しい会話をとおした会食	日々の給食、地域の方との会食会等とおし、一緒に食べる楽しさを体験する。	毎月	公立保育園	公立保育園園児 (約650名)	日々の給食は感染対策をして実施。 地域の方との会食会等は新型コロナウィルス感染防止対策のため行っていない。	2. だいたいできた		◎				
34	保育課	情報提供・普及啓発		栽培をとおして食べる意欲を育てる	種まき・水やり・雑草とり等手間ひまをかけ、栽培の方法と収穫の喜びを体験する。	毎月	公立保育園	公立保育園園児 (約650名)	例年並みに実施した。	1. よくできた			◎			
35	保育課	情報提供・普及啓発		味覚体験	自分たちで育て、収穫した新鮮な野菜の味を体験する。	毎月	公立保育園	公立保育園園児 (約650名)	例年並みに実施した。	1. よくできた			◎			
36	保育課	情報提供・普及啓発		調理体験	自分たちで栽培した野菜や他の食材を使った調理を体験する。	毎月	公立保育園	公立保育園園児 (主に5歳児クラス・約135名)	収穫した大根で切り干し大根づくりや、バター作り、あじの捌き方の見学等をした。通常、園児が調理保育に参加するが、感染防止対策のため、デモンストレーション台で職員が行う調理の見学のみを行った。	2. だいたいできた		○	◎			
37	保育課	情報提供・普及啓発		地場食材を活用した給食の実施	地元産や県内産食材を給食に取り入れ、子どもたちに伝える。	毎月	公立保育園	公立保育園園児 (約650名)	納品業者に地元産や県内産の納品に協力を依頼した。	1. よくできた			◎			
38	保育課	情報提供・普及啓発		食に係る放射性物質濃度測定の実施	保育園給食食材等の放射性物質濃度測定を実施する。	毎月	公立保育園	公立保育園園児 (約650名)	例年通り実施した。	1. よくできた				◎		
39	青少年課	その他		各種料理教室	料理を通じ、食べる喜びや栄養に関する知識を得る。	原則、毎月	鎌倉青少年会館	2歳児の親子から中学生まで各種市内在住・在学	新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、人を集めること、財政課指示による啓発事業の廃止により中止。	4. ほとんどできなかった	○	◎				
40	発達支援室	情報提供・普及啓発		給食だより・保健だよりの発行	保護者へ、食や健康に関する情報を提供する	月1回	同上	保護者	12回実施(前年度同じ)	1. よくできた	◎			○		
41	発達支援室	情報提供・普及啓発		給食をとおし、伝統的な食に親しむ	和食の献立を多く取りいれた給食を実施する	通年	同上	園児	令和2年度開所日数216日、延利用児3759人に給食を提供した (令和元年度は開所日数214日、延利用児3975人に給食を提供した)	1. よくできた		◎				
42	発達支援室	情報提供・普及啓発		栽培をとおして食べる意欲を育てる	種まき・水やり・雑草とり等手間ひまをかけ、栽培の苦労と収穫の喜びを体験する	初夏～	同上	園児	ピーマン・プチトマト・サツマイモを育てた	1. よくできた			◎			
43	発達支援室	情報提供・普及啓発		味覚体験	自分たちで育て、収穫した新鮮な野菜の味を体験する	秋	同上	園児	同上	1. よくできた			◎			
44	発達支援室	情報提供・普及啓発		地場食材を活用した給食の実施	地元産や県内産食材を給食に取り入れ、子どもたちに伝える	通年	同上	園児	市内業者からの食材の購入を行った	1. よくできた			◎			
45	発達支援室	情報提供・普及啓発		食に係る放射性物質濃度測定の実施	給食食材等の放射性物質濃度測定を実施する	毎週木曜日	同上	園児		1. よくできた				◎		
46	発達支援室	情報提供・普及啓発		食に対するこだわり・偏りに寄り添った取り組み	食事に関心を持ち、楽しい時間となるような取り組みを保護者とともに考える	随時	同上	保護者	栄養士が各クラスから情報収集を行い、給食のメニューに反映した。喫食状況は保護者に連絡帳を通じてお知らせし、家庭での食事の参考にしていただき、随時相談も受けてアドバイスなどを行った	1. よくできた	○	◎				

令和２年度「第３期鎌倉食育推進計画」推進に係る取組実績

【達成状況の目安】 １．よくできた …(例)当初予定の80%以上できた
２．だいたいできた …(例)当初予定の50～79%できた
３．あまりできなかった …(例)当初予定の30～49%しかできなかった
４．できなかった …(例)当初予定の29%以下しかできなかった

【推進項目】 当てはまるもの全てに○、最も当てはまるもの１つに◎を入れています。

番号	所 属 ・ 団 体	項 目	令和２年度実施事業							鎌倉食育推進計画					協力・連携団体	
			新規事業	事業名等	事業内容	時期	場所	対象者(参加者数)	実績について 達成状況の評価の根拠を、可能な限り数値で記入してください。 （例：参加者数の前年度に比べての増減数等）	達成状況	食育の推進					
											食をと おした 健康づ くり	食をと おした 人づ くり	食を とつな ぐ地 域づ くり	食か らは じめ る環 境づ くり		
47	発達支援室	情報提供・普及啓発		調理体験	自分たちで栽培した野菜や他の食材を使った 調理を体験する。	毎月	同上	園児 保護者	コロナの感染状況を踏まえ、実施しなかった。	4. ほとんどできなかった						
48	環境政策課	情報提供・普及啓発		牛乳パックのリサイクル	給食にでた牛乳パックのリサイクルを習慣化し、環境にやさしい生活への意識をはぐくむ	随時	公立小・中学校	—	学校からの要請により、感染症対策として3校を除いて回収を中止している	3. あまりできなかった					◎	
49	環境政策課	情報提供・普及啓発		「鎌倉市地球温暖化対策地域実行計画」及び「鎌倉市環境教育行動計画」の施策の推進	温室効果ガス削減や環境保全行動の推進、食の地産地消等について、環境教育アドバイザー派遣制度等の取り組みを通じて、普及啓発を図る	随時	—	—	—	1. よくできた					◎	山崎・谷戸の会等の協力を得て実施
50	ごみ減量対策課	情報提供・普及啓発		環境教育	保育園・幼稚園の園児及び小学校・中学校の生徒を対象とした、循環型社会の形成に向けた、「食」をととしたごみ発生抑制・減量化及び資源化を推進する	随時（年十数回程度）	各園・各小中学校	保育園・幼稚園の園児及び小学校・中学校の生徒	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から対面での開催を中止し、オンラインでの開催と紙芝居の貸し出しのみにしたため、令和元年度と比較し、9件減少した。	4. ほとんどできなかった					◎	
51	ごみ減量対策課	イベント		フードドライブ	「家庭における食品ロスの削減」のため、市民が家庭で余っている食材を持ち寄り、本市にてそれらをまとめて地域の福祉団体などに寄与する https://www.city.kamakura.kanagawa.jp/gomi/29fooddrive2.html	年4回程度	受付場所：本庁、鎌倉リサイクル推進会議（笹田リサイクルセンター内）	市民	新型コロナウイルスの状況を考慮し、年1回の実施となった。 延57名に約144kgを寄付いただき、5団体に提供した。	2. だいたいできた					◎	
52	学務課	情報提供・普及啓発		小学校給食についての広報	地場産の食材を使った給食の様子を紹介し、学校給食の意義と役割について広く市民に理解を深める	通年		市民	学校給食の意義と役割について、ホームページを通じて広く市民の理解を深めることができた。	1. よくできた				◎	○	
53	学務課	情報提供・普及啓発		給食だよりの発行	保護者へ、食や健康に関する情報を提供したり、献立の作り方を紹介する	通年	市立小学校、市立中学校	市立小中学校児童生徒	【小学校】9回/年 【中学校】12回/年（4～6月は休校のため給食実施はなかったが、給食だよりは発行した）	1. よくできた	◎				○	
54	学務課	情報提供・普及啓発		鎌倉伝統の食による献立の作成	鎌倉の伝統の食であるけんちん汁の献立を作成し、次世代に伝える	通年	市立小学校、市立中学校	市立小中学校児童生徒	【小学校】3回（2学期1回、3学期2回。1学期にも予定していたが休校のため実施せず） 【中学校】2回（11、1月）（6月にも予定していたが休校のため実施せず）	1. よくできた		◎				
55	学務課	情報提供・普及啓発		地場食材を活用した給食の実施	地元産や県内産食材を給食に取り入れ、子どもたちに伝える	通年	市立小学校、市立中学校	市立小中学校児童生徒	【小学校】16.5%（前年度は15.2%） 【中学校】5.6%（前年度は5.9%）	1. よくできた					◎	
56	学務課	情報提供・普及啓発		季節の食材の紹介	給食室や栄養士から、季節の食材情報を発信する	通年	市立小学校、市立中学校	市立小中学校児童生徒	【小学校】当日の献立に係る「一口メモ」（151回/年）及び「給食だより」（9回/年）を発行した。また、給食時間に1校当たり平均3回指導を行った。 【中学校】当日の献立に係る「一口メモ」（145回/年）及び「給食だより」（12回/年）を発行した。	1. よくできた					◎	○
57	学務課	情報提供・普及啓発		食に係る放射性物質濃度測定の実施	給食食材等の放射性物質濃度測定を実施する	通年	山崎浄化センター	市立小中学校児童生徒	【小学校】192回（前日測定105回、臨時測定87回） 【中学校】62回（前々日測定）	1. よくできた						◎
58	教育指導課	その他		保健だより、健康だより等の発行	望ましい生活リズム等を児童生徒・家庭へ伝える。	随時	市立小・中学校	児童生徒・保護者	小・中25校全校で実施：100%	2. だいたいできた	◎				○	市立小・中学校
59	教育指導課	その他		食育の推進	栄養のバランスや規則正しい食生活、食品の安全性、また自然の恩恵・勤労などへの感謝や食文化などについて、教科等の内容と関連させた指導を行う。	随時	市立小・中学校	児童生徒	小・中25校全校で実施：100%	1. よくできた	○	◎	○	○		市立小・中学校

令和２年度「第３期鎌倉食育推進計画」推進に係る取組実績

【達成状況の目安】 1. よくできた …(例)当初予定の80%以上できた
2. だいたいできた …(例)当初予定の50～79%できた
3. あまりできなかった …(例)当初予定の30～49%しかできなかった
4. できなかった …(例)当初予定の29%以下しかできなかった

【推進項目】 当てはまるもの全てに○、最も当てはまるもの1つに◎を入れています。

番号	所属・団体	項目	令和２年度実施事業							鎌倉食育推進計画					協力・連携団体	
			新規事業	事業名等	事業内容	時期	場所	対象者(参加者数)	実績について 達成状況の評価の根拠を、可能な限り数値で記入してください。 (例：参加者数の前年度に比べての増減数等)	達成状況	食育の推進					
											食をとおした健康づくり	食をとおした人づくり	食をつなぐ地域づくり	食から始める環境づくり		
60	教育指導課	情報提供・普及啓発		食育だよりの発行	中学生へ、食や健康に関する情報を提供したり、朝食のレシピを紹介する	6月1月	10月	市立小・中学校	生徒、保護者、教師	小・中25校全校で実施：100%	1. よくできた	◎			○	市立小・中学校
61	教育指導課	その他		給食をとおしてバランスのとれた食を学ぶ	バランスのよい日本型食生活を取り入れた献立の給食を提供することで、食べる体験からバランスのよい食事の大切さを学ぶ。	通年		市立小・中学校	児童生徒	小・中全25校で実施：100%	1. よくできた	◎				市立小・中学校
62	教育指導課	その他		生活リズム強調期間の設定	長期休業中の生活指導等、年間指導計画に基づき実施した。	随時		市立小・中学校	児童生徒	小・中全25校で実施：100%	1. よくできた	◎			○	市立小・中学校
63	教育指導課	その他		家庭科等の教科における食育	栄養バランスを考えた献立を整え、基礎的な調理を行う	随時		市立小・中学校	児童生徒	小・中全25校で実施：100%	2. だいたいできた	◎	○			市内国公立小学校
64	教育指導課	その他		食に関する年間指導計画を策定	全校で策定する。	4月		市立小・中学校	児童生徒	小・中25校全校で実施：100%	1. よくできた	◎	○	○	○	市立小・中学校
65	教育指導課	その他		家庭科、特活等における学習	食と安全、食品の選び方・買い方、バランスのよい食事、健康と食べものなどについて学ぶ。	随時		市立小・中学校	児童生徒	小・中全25校で実施：100%	2. だいたいできた	◎	○	○	○	市立小・中学校
66	教育指導課	その他		「食」に関する感謝の心をはぐくむ	給食、道徳科、家庭科、技術・家庭科等をとおして、食事を作ってくれた人や食べ物への感謝の心を育てる。食前後の挨拶の意味を伝え、習慣を育てる。	随時		市立小・中学校	児童生徒	小・中全25校で実施：100%	1. よくできた		◎	○		市立小・中学校
67	教育指導課	その他		給食等の時間における、楽しい会話をとおした会食	日々の給食やランチルーム会食会、地域の方との会食会等をとおし、一緒に食べる楽しさを体験する。	随時		市立小・中学校	児童	児童・生徒間の距離を取る、食事中の会話はしないなど、感性予防対策をとりながら給食は実施 会食に関しては中止	4. ほとんどできなかった		◎			市立小・中学校
68	教育指導課	その他		生産体験学習	栽培活動をとおして、食生活が多くの人に支えられていることを学ぶ。	随時		市立小・中学校	児童生徒	小・中学校の栽培環境のある学校で実施	1. よくできた			◎		市立小・中学校
69	教育指導課	その他		食料生産に関する学習	社会科等の教科の中で、食料生産を支える人々について学ぶ。	随時		市立小・中学校	児童生徒	地理学習において「日本の地域的特色」の中で、農林水産業の特徴や課題について学んだ。	2. だいたいできた			◎		市立小・中学校
70	教育指導課	その他		職場体験（キャリア教育）の実施	総合的な学習の時間をとおした、職場体験を実施する。	随時		市立小・中学校	生徒	中学校全9校が第2学年で実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず。	4. ほとんどできなかった			◎		市立小・中学校
71	教育指導課	その他		社会科等の教科における学習の実施	市教委作成「かまくら」「わたしたちの鎌倉」を用いて、「食」ともつながる身の回りの環境を学習し、環境保全の意識をはぐくむ。	随時		市立小・中学校	児童生徒	地理学習において、海洋汚染や公害等を学ぶ中で、SDGsの視点で考える活動など環境保全の意識を育んだ。	2. だいたいできた				◎	市立小・中学校
72	教育指導課	その他		環境教育の実施	教科、総合的な学習の時間等をとおし、身近な環境からグローバルな環境まで考える力をはぐくむ。	随時		市立小・中学校	児童生徒	地理学習において、海洋汚染や公害等を学ぶ中で、SDGsの視点で考える活動など環境保全の意識を育んだ。	2. だいたいできた				◎	市立小・中学校
73	教育指導課	イベント		鎌倉の地域に関する学習	社会科、総合的な学習の時間等の時間をとおし、鎌倉の地に興味を持つことで地域づくりへの意識をはぐくむ。	随時		市立小・中学校	児童生徒	小学校3年で地域学習 中学校地理で地域学習、総合的な学習の時間で身近な職業調べの実施。	2. だいたいできた		○		◎	市立小・中学校
74	教育指導課	その他		牛乳パックのリサイクル	給食にでた牛乳パックのリサイクルを習慣化し、環境にやさしい生活への意識をはぐくむ。	随時		市立小・中学校	児童生徒	小学校3校実施 その他小学校13校、中学校9校は感染症予防対策の観点から実施せず。	2. だいたいできた				◎	市立小・中学校
75	教育指導課	その他		開かれた学校づくり	学校行事等の開放により、地域との連携を推進する。	随時		市立小・中学校	児童・生徒	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず。	4. ほとんどできなかった				◎	市内国公立小学校

令和2年度「第3期鎌倉食育推進計画」推進に係る取組実績

【達成状況の目安】 1. よくできた …(例)当初予定の80%以上できた
2. だいたいできた …(例)当初予定の50～79%できた
3. あまりできなかった …(例)当初予定の30～49%しかできなかった
4. できなかった …(例)当初予定の29%以下しかできなかった

【推進項目】 当てはまるもの全てに○、最も当てはまるもの1つに◎を入れています。

番号	所属・団体	項目	令和2年度実施事業							鎌倉食育推進計画					協力・連携団体
			新規事業	事業名等	事業内容	時期	場所	対象者(参加者数)	実績について 達成状況の評価の根拠を、可能な限り数値で記入してください。 (例：参加者数の前年度に比べての増減数等)	達成状況	食育の推進				
											食をとおした健康づくり	食をとおした人づくり	地域づくり	食でつなぐ環境づくり	
76	教育センター	情報提供・普及啓発		食育研修会の実施	児童・生徒へ「食育」を伝えるため、まず、教育に携わる教職員の研修会を開催し、一人ひとりが「食とは何か」を考える	年1回	市内	小中学校教職員 幼稚園・こども園・保育園・こどもの家等職員	コロナ禍で夏季休業期間が短縮したことにより、取りやめ。	4. ほとんどできなかった		○	◎	○	鎌倉漁業協同組合